



令和2年度 つくば市立栄小学校 グランドデザイン

本県の教育目標

県学校教育指導方針

いばらき教育プラン

一人一人が輝く教育立県を目指して

～子どもたちの自主性・自立性を育もう～

- 1 社会全体による子どもたちの自主性・自立性の育成
- 2 確かな学力の習得と活用する力の育成
- 3 生涯にわたる学習と文化芸術、スポーツ活動の推進
- 4 誰もが安心して学べる教育環境づくり

本県の求める教師像

- 1 人間性豊かな教師
- 2 活力に満ちた教師
- 3 指導力のある教師
- 4 子どもの気持ちを理解できる教師
- 5 明るく積極的な教師

輝く瞳をもつ子どもの育成を目指して

- 1 「確かな学力」を育むために、少人数・TT指導等を活用し個に応じた指導を行う。
- 2 「豊かな心」を養うために、人を思いやる心を育て、望ましい集団づくりに努める。
- 3 「健やかな体」を育成するために、自ら進んで健康安全を実践する児童を育てる。
- 4 信頼され、活力のある開かれた学校づくりに努める。
- 5 授業力・人間力を高めるための研修を推進する。

学校教育目標

認め合い学び合い、自分で考え行動する児童の育成

めざす児童像

進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

組織目標

○個に応じたきめ細かな指導を通して、自ら学ぶ意欲を高め、学力向上を図る。

○子どもたちの「心の居場所」となる、信頼感と安心感にねざした学級づくり、集団づくりに努める。

つくば市教育目標

○学びたくなる
楽しい学園・学校

世界の明日をひらく
社会力豊かな
幼児・児童・生徒の育成

桜学園教育目標

○夢をもち、自立して
社会に貢献する児童

・生徒の育成

積極的な評価と改善

- ・学校評価を活用した学校運営の検証及び改善
- ・教員評価面談を活用した資質・能力の向上

学びプロジェクト

学び合い プラン

確かな学力を育む教育の推進 ○分かる授業の展開

- ・基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の工夫（TT, 少人数指導, LD研究）
- ・個々の学力を高める工夫（漢字力・計算力テスト）
- ・学び方と自ら学ぶ態度の育成（学習の約束7・家庭学習の手引き）
- ・課題追究と発展的なつくばスタイル科の実践
- ・教科担任制の導入と小中一貫教育の確実な推進
- ・学校ICT教育の推進
- ・コミュニケーションの楽しさを体験できる外国語活動及び外国語科の実践
- ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実

【数値目標】

★「確かな学力」等の学校評価アンケートで、肯定的な評価の割合が80%

生徒指導の充実プロジェクト

ふれ合い プラン

豊かな心を育む教育の推進 ○夢・感動のある楽しい集団づくり

- ・「居場所づくり」「絆づくり」としての学級経営の充実
- ・読書活動の充実
- ・思いやり的心を育てる「特別の教科 道徳」の指導の工夫（公開授業の実施）
- ・正しい判断と規範意識、自己抑制力の涵養
- ・マナーアップ運動の展開
- ・代表委員会活動による校内自治の話合い
- ・児童が主役の学校行事の創造
- ・児童の創意を生かした集会、縦割り班活動の工夫
- ・幼稚園等との交流学习の充実

【数値目標】

★「豊かな心」等の学校評価アンケートで、肯定的な評価の割合が80%

安全・安心プロジェクト

鍛え合いプラン

健やかな体を育む教育の推進 ○健康・体力の向上

- ・運動習慣づくりを目指した体育科学習指導
- ・業間運動や体力アップデーの工夫
- ・食に関する指導の充実
- ・交通事故防止・不審者被害防止の具体的対策
- ・非行防止教室や防犯教室における外部講師の活用
- ・健康安全への自己管理能力の育成
- ・自然災害に対する意識の啓発（防災教育の実践）
- ・避難訓練の計画的実施

【数値目標】

★「進んで体力づくり」をしていると答える児童80%

開かれた学校づくりプロジェクト

磨き合い プラン

桜学園小中一貫教育の推進

○学力向上部会

- ・授業の振り返りと学習系統表の活用改善
- ・家庭学習の手引きの活用
- ・学びの広場への中学生の協力
- ・学園統一テスト・ことわざ検定

○自分づくり部会

- ・学園共通 生活目標の実践
- ・桜学園クリーン作戦、マナーアップ運動、いじめゼロフォーラム
- ・みんなの約束5の実践
- ・生徒指導系統表の活用

○健康安全部会

- ・学園共通 健康安全目標の実践
- ・学園陸上記録会への中学生の協力
- ・地域防災訓練の実施
- ・体育祭での交流
- ・9年間を見通した体力づくり

○つくばスタイル科部会

- ・つくばスタイル科系統表の活用
- ・テレビ会議授業の実践

【数値目標】

★「小中一貫教育」等の学校評価アンケートで、肯定的な評価の割合が80%

安全で安心な学校

- ・防犯諸団体等との連携と保護者への情報提供
- ・防犯メールシステム活用による不審者情報の提供
- ・安全点検の実施と迅速な処理
- ・危機管理マニュアルの再点検と全職員による共通理解・実践
- ・登下校時の交通指導
- ・保護者や地域と連携した学園合同防災訓練の実施
- ・「安全マップ」の活用

【数値目標】

★「けが等に気を付けて自分でよく考えて行動している」と答える児童80%

信頼と活力のある学校

- ・高学年での一部教科担任制導入
- ・ゲストティーチャーや外部講師の活用
- ・学校だよりやホームページによる情報発信
- ・学校評価の公表と活用
- ・三ない運動 適切な会計処理 個人情報保護
- ・「資質の向上に関する指標」を踏まえた校内研修

【数値目標】

★教育活動のねらいや児童の様子が保護者によく伝わっているという評価の割合が90%